

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	国語科	学年	第1学年	担当教員	石島 弘樹
----	-----	----	------	------	-------

1. 持ち物

【通常】教科書、授業ファイル、漢字ワーク、ワーク、国語便覧、漢字の完全マスター等

【硬筆】書写教科書、硬筆ペン、お手本、用紙等 【毛筆】書写教科書、毛筆セット（筆、硯、墨液、文鎮、下敷き）、新聞紙等

2. 授業の受け方

- ・漢字や文法の小テストで、安定して満点を取れる学習習慣を身につけましょう。
- ・なぜ学ぶのか、各単元や授業の目標を理解した上で、学習に取り組みましょう。
- ・聞き手・読み手を意識した言葉づかいをしましょう。
- ・「伝え合う言葉」を意識し、級友と協働しながら学習課題に迫りましょう。

3. 定期テスト・評価

（1）評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	定期テスト、小テスト（漢字・文法）、提出物（プリント、書写作品）等
②思考・判断・表現	定期テスト、提出物（プリント、作文、）、表現活動等
③主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組みの様子、提出物、表現活動、定期テスト等

＜評定＞

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

（2）定期テストについて

国語科は授業で扱った文章をもとに、どのような文章でも読みこなせる力を身につけることを目標とします。そのためプリントやワークを復習する際は、なぜその考えや解釈に至ったのか、思考の過程を思い出すようにしてください。また、不正解の場合は、なぜ模範解答が正解なのかも考えられるようにしましょう。試験では知識を問うだけでなく、これまでに習得した考え方を活用して、新たな切り口の問いに迫ったり、多様な考え方ができることを求めます。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容（予定）	教科書等該当ページ
1	4	「聞くということ」「桜蝶」	16～29
	5	「自分の脳を知っていますか」文法、硬筆	30、36～44
	6	「ベンチ」「漢字の広場」	48～62
	7	ビブリオバトル	31、32、51～164
2	8	「根拠を明確にして意見文を書く」	103～105
	9	古文「竹取物語」「枕草子」漢文「故事成語」	113～132
	10	文法「河童と蛙」	120、166～173
	11	「オツベルと象」「漢字の広場」「日本語の文字」	146～172
	12	書き初め	
3	1	「言葉がつなぐ世界遺産」文法	226～239、239
	2	「四季の詩」「少年の日の思い出」「百人一首」「作文」	206～228、242～262
	3	連作ショートショートを書く	270～273

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	社会科	学年	第1学年	担当教員	西本 貴哉
----	-----	----	------	------	-------

1. 持ち物

【歴史】教科書、資料集、ノート、授業ファイル（黄色）、地図帳 【地理】教科書、資料集、ノート、授業ファイル（黄色）、地図帳 ※問題集（ワーク）、色ペン・色鉛筆・蛍光ペンも手元にあると便利です。

2. 授業の受け方

授業ではプリントで重要事項を網羅的に学習し、各自のノートに要約を中心としたまとめを行います。気づいた事をメモに取り、自分の意見や考え、周りのクラスメイトの発言で気づいたこと、資料集を見て重要だと思われる部分、タブレット端末で調べた情報等を積極的に書き加えることが重要です。また、新聞やニュース等に関心を持ち、日常生活との関連を見つけることで、より学びが深まります。

3. 評価・定期テスト

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	定期テスト、小テスト、提出物(ノート、プリント、レポート)等
②思考・判断・表現	定期テスト、提出物(ノート、プリント、レポート)等
③主体的に学習に取り組む態度	授業への取組の様子、提出物等、定期テスト

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

定期テストでは、授業で学習したことを中心に、教科書の内容から高校入試に対応できるレベルの発展問題まで幅広く出題します。テストに向けて、授業プリントや資料集、ノートへの板書事項の見直しを行い、副教材(ワーク、カラープリント等)の問題に積極的に取り組みましょう。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	【地理的分野】	
	5	第1章「世界の姿」、第2章「日本の姿」	教科書P 8～3 3
	6	【歴史的分野】第1章「歴史へのとびら」	教科書P 8～2 1
	7	第2章「古代までの日本」	教科書P 2 2～6 3
2	8	【地理的分野】	
	9	第1章「世界各地の人々の生活と環境」	教科書P 3 4～5 7
	10	第2章「世界の諸地域」	教科書P 5 8～1 4 3
	11		
	12		
3	1	【歴史的分野】	
	2	第3章「中世の日本」	教科書P 6 4～9 7
	3		

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	数学科	学年	第1学年	担当教員	高橋正陽 宮崎祐介
----	-----	----	------	------	-----------

1. 持ち物

毎授業必要なもの：教科書，ファイル，ワーク，ノート，タブレット
 必要になるもの：コンパス，三角定規，直定規，分度器，イヤホン

2. 授業の受け方

- ① プリントで学ぶ
- ② ワークブックで定着
- ③ 発展課題でさらに学習する

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	定期テスト
②思考・判断・表現	定期テスト
③主体的に学習に取り組む態度	授業や学習への取組の様子，定期テスト

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1か2
-------	-------	-------	---------------	-------	---------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

評価の大きな材料となります。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	1章 正の数・負の数	P12～P32
	5	1章 正の数・負の数	P33～P57
	6	2章 文字の式	P58～P74
	7	2章 文字の式	P75～P87
2	8	3章 方程式	P88～P90
	9	3章 方程式	P91～P113
	10	4章 変化と対応	P114～P138
	11	4章 変化と対応	P139～P147
	12	5章 平面図形	P148～P168
3	1	5章 平面図形	P169～P181
	2	6章 空間図形	P182～P219
	3	7章 データの活用	P220～P246

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	理科	学年	第1学年	担当教員	尾畑 玲
----	----	----	------	------	------

1. 持ち物

教科書・ファイル（授業中に配布したプリント）・資料集・（保護眼鏡・タブレット・ワーク）

2. 授業の受け方

授業プリントをもとに、基本的に「予想→実験の説明→実験→結果→考察→まとめ→（応用）」の流れで学習していきます。実験や話し合い活動では、安全に気を付けて、班で協力して行いましょう。また、考察は実験の目的を踏まえて根拠をもった説明ができるようにしましょう。まとめや実験の無い単元は、基本的には板書をノートに写したり、説明を聞いたりという活動が中心となります。

3. 定期テスト・評価

（1）評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	実験などの技能・提出物・定期テスト・小テスト
②思考・判断・表現	実験の考察・発表・提出物・定期テスト
③主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・提出物等・テスト

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

（2）定期テストについて

定期テストでは、授業で学習したことを中心に、教科書の内容から発展問題まで幅広く出題します。授業プリントや教科書、資料集の見直しを行い、副教材（ワーク、プリント等）の問題に積極的に取り組みましょう。実験の方法や考察の根拠を明確にしておきましょう。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	いろいろな生物とその共通点	教科書 P16～63
	5	1章 植物の特徴と分類	
	6	2章 動物特徴と分類	
	7	身の回りの物質	教科書 P130～203
2	8	1章 いろいろな物質とその性質	
	9	2章 いろいろな気体とその性質	
	10	3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	
	11	身近な物理現象	
	12	1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	教科書 P204～265
3	1	大地の成り立ちと変化	教科書 P64～129
	2	1章 身近な大地 2章 ゆれる大地	
	3	3章 火をふく大地 4章 語る大地	

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	G・S科	学年	第1学年	担当教員	酒井、久保
----	------	----	------	------	-------

1. 持ち物

毎授業必要なもの：教科書、ノート、ワークブック、ファイル

2. 授業の受け方

- ①ウォームアップ：口頭による発話練習で英語のアウトプットに慣れる
- ②メイン活動：主に教科書やワークシートで学ぶ。(音読やQ&Aなど)
- ③ワークブック：基礎の定着を図る
- ④多読資料：英文をたくさん読む

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
① 知識・技能	定期テスト、パフォーマンステスト（スピーチや手紙など）
②思考・判断・表現	定期テスト、パフォーマンステスト（スピーチや手紙など）
③主体的に学習に取り組む態度	授業や学習への取り組みの様子、提出物

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

評価の大きな材料となります。口頭による活動だけでなく定期テストの達成度も高い必要があります。

(3) パフォーマンステストは各単元で行い、口頭によるものと書く活動があります。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	小学校で学んだ表現、単語や英文の書き方について。	教科書 P7～P20
	5	Be 動詞を中心にした自己紹介活動。	教科書 P21～P28
	6	一般動詞とインタビュー活動。できることの表現。	教科書 P29～P36 p37～50
	7	This is などの限定詞と紹介活動。	教科書 P51～P60
2	8	3人称単数と紹介活動。	教科書 P61～P70
	9	疑問詞とインタビュー活動。(代名詞)	教科書 P71～P80
	10	There is 構文と口頭のやりとり。	教科書 P81～P92
	11	既習文法を使用した口頭活動。	教科書 P93～P98
	12	現在進行形とスピーチ活動。	教科書 P99～P108
3	1	過去形とメールの読みとり、返信をする活動。	教科書 P109～P122
	2	be 動詞の過去形と物語を読む活動。	教科書 P123～P139
	3	絵葉書を書こう。	教科書 P140～P144

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	音楽科	学年	第1学年	担当教員	斉藤 あゆ
----	-----	----	------	------	-------

1. 持ち物

・ファイル	・教科書（器楽＋該当学年の教科書）	・キミウタ	・筆記用具
-------	-------------------	-------	-------

2. 授業の受け方

・音楽の楽しさを味わうためにメリハリをつけて授業を受ける。
・とにかく一生懸命やってみる。失敗を恐れず、声を出す。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について					
評価の観点		評価の資料			
① 知識・技能		・実技テスト・小テスト・プリント・授業での発言、取り組み			
②思考・判断・表現		・実技テスト・小テスト・プリント・授業での発言、取り組み			
③主体的に学習に取り組む態度		・実技テスト ・プリント・授業での発言、取り組み			
<評定>					
評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または 2

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて	
実施せず、歌唱のテストや楽器の演奏テストや普段の授業の積み重ねで評価を行います。	

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	歌唱（校歌、夏の思い出）	音楽のおくりもの1 18～21
	5	創作（くいしんぼうのラップ）	音楽のおくりもの1 42～43
	6	鑑賞（春）	音楽のおくりもの1 44～47
	7	歌唱（合唱コンクール学年曲）	
2	8	歌唱（合唱コンクール学年曲、クラス選択曲）	
	9	歌唱（合唱コンクール学年曲、クラス選択曲）	
	10	歌唱（合唱コンクール学年曲、クラス選択曲）	
	11	器楽（ギター）	音楽のおくりもの器楽 32～39
	12	鑑賞（魔王）	音楽のおくりもの1 48～51
3	1	器楽（箏）	音楽のおくりもの器楽 40～47
	2	器楽（箏）	音楽のおくりもの器楽 40～47
	3	卒業式歌（旅立ちの日に）	キミウタ 341～345

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	美術科	学年	第1学年	担当教員	佐藤 博
----	-----	----	------	------	------

1. 持ち物

持ち物 →教科書(1年生：1冊、2・3年生：2冊)、ファイル、筆記用具(鉛筆)

服 装 →ジャージまたは体操服

2. 授業の受け方

- ・造形的な視点で題材を捉え、表現方法を創意工夫し、創造的に表現して作品を完成させる。
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、時間をかけて主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めて制作に取り組む。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好し、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造することを心がけて楽しんで制作に取り組む。
- ・鑑賞の取り組みでは、様々な作品を美術的な視点で深く観賞し、自分が感じたことを自分の言葉でしっかりと表現する。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	プリント類、作品、授業での観察
②思考・判断・表現	プリント類、作品、授業での観察
③主体的に学習に取り組む態度	プリント類、作品、授業での観察

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

美術科では実施しない

4. 年間授業計画 題材の実施準は前後する場合があります

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	ガイダンス 「クリアブックを自分流に」	P. 2～7、P. 40～43
	5		
	6		
	7	鑑賞 ↓	
2	8	「ずっと触っていたいペン」	P. 48・49
	9		
	10	↓	
	11	「あの人に贈る、絵手紙を描こう」→「～送ろう」	P. 12・13・30・31
	12	鑑賞 ↓	
3	1	「あっ、おいしそう！」(塑像)	P. 14・15
	2		
	3	鑑賞	

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	保健体育科	学年	全学年	担当教員	高橋真、小番、石井
----	-------	----	-----	------	-----------

1. 持ち物

教科書、実技副読本、ファイル（バインダー）、筆記用具、ハチマキ、ネームビブス（1・2年のみ）

2. 授業の受け方

- ・健康管理を含めて、心と体の準備をし、忘れ物のないようにしましょう。
- ・安全の保持に十分留意し、安全な活動を進んでおこなひましょう。
- ・安全や体の健康のためにも、運動に適した靴を履いてきましょう。
- ・授業中のけがや体調不良の時には、無理をせず、先生に申し出ましょう。

3. 定期テスト・評価

（1）評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	単元テスト、技能テスト、授業での観察、学習カードの記述内容等
②思考・判断・表現	授業での観察（話し合い活動等）、学習カードの記述内容等
③主体的に学習に取り組む態度	学習カードの記述内容、授業内の発表、授業規律を意識した態度等

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

（2）定期テストについて

定期テストは実施せず、単元の中での各種テストや普段の授業における積み重ねで評価を行う。

4. 令和7年度の3学年の授業計画・学習内容（予定）

学期	1 学年	2 学年	3 学年
1 学期	体づくり運動（新体力テスト含む） 陸上競技（短距離・リレー） 水泳 保健・体育理論	体づくり運動（新体力テスト含む） 陸上競技（短距離・リレー） 水泳 保健・体育理論	体づくり運動（新体力テスト含む） 陸上競技（短距離・リレー） 水泳 保健・体育理論
2 学期	球技（ゴール型・ネット型） 陸上競技（長距離走） 器械運動（マット運動） 球技（ベースボール型） 保健・体育理論	球技（ゴール型・ネット型） 陸上競技（長距離走） 器械運動（跳び箱運動） 球技（ベースボール型） 保健・体育理論	球技（ゴール型 or ネット型） ※種目選択 ダンス or 器械運動 ※領域選択 陸上競技（長距離走） 球技（ベースボール型） or 武道（柔道） ※領域選択 保健・体育理論
3 学期	陸上競技（ハードル走） ダンス 保健・体育理論	陸上競技（ハードル走・走り幅跳び） 武道（柔道） 保健・体育理論	陸上競技（ハードル走・走り幅跳び） 球技（ゴール型） 保健・体育理論

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	技術	学年	第1学年	担当教員	島崎幹大
----	----	----	------	------	------

1. 持ち物

教科書、総合ノート、ファイル

その他実習等で必要なものは授業内で指示します。

2. 授業の受け方

- ・授業や実習に必要な道具・材料などの準備をし、忘れ物のないようにしましょう。
- ・安全の保持に十分留意し、安全な活動・作業を進んでおこないましょう。
- ・日頃から家族の一員として積極的に家庭の仕事をおこない、生活の中から、「知りたい・工夫したい・やってみたい」ことを見つけ、学習したことを生活の中で生かしていきましょう。
- ・提出物は必ず完成させ、期限を守って提出しましょう。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	学習過程における技能の習熟状況。完成した作品、レポート、学習プリントの記入状況、定期テストなど。
②思考・判断・表現	既習事項の活用状況や実際の生活の場で工夫したり、創造したりする状況など。完成した作品、レポート、学習プリントの記入状況など。
③主体的に学習に取り組む態度	作業や実習、実習計画立案への積極性、毎時間の学習への取り組み状況、作品の提出状況、レポートや作文、定期テスト、家庭での実践記録など。

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

1学期期末テスト、2学期期末テスト、学年末テストの年間3回の定期テストにおいて、技術・家庭科、各分野50点の合計100点を満点とするテストを行う。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	<u>B 生物育成の技術</u> (1学年通年、動物の飼育・水産生物の栽培・作物の栽培について学習し、作物の栽培を実際に行う)	P20～93
	5		
	6		
	7		
2	8	<u>A 材料と加工の技術</u> (身の回りの材料について学習し、木材を中心とした加工実習を実施する)	P94～139
	9		
	10		
	11		
	12		
3	1		
	2		
	3		

令和7年度 与野南中学校の学習について

教科	家庭科	学年	第1学年	担当教員	大河内 陽子
----	-----	----	------	------	--------

1. 持ち物

教科書、ファイル、家庭ノート
実習の際は、授業で持ち物を説明します。

2. 授業の受け方

- ・忘れ物をしないように、持ち物の確認をしましょう。
- ・安全に留意して、作業をするように心がけましょう。
- ・日頃から自分の生活と結び付けて考え、実生活に生かせるようにしていきましょう。
- ・自分が取り組む課題は、最後までやり遂げるようにしましょう。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
① 知識・技能	製作時に身につけている技能の習得状況、学習プリントの記入内容、レポート、定期テストなど。
②思考・判断・表現	授業での発言、レポート、授業の取り組み状況、定期テストなど。
③主体的に学習に取り組む態度	レポートの取り組み、授業での発言、作品の提出状況、学習記録カードなど。

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

1学期期末テスト、2学期期末テスト、学年末テストの年間3回の定期テストにおいて、技術・家庭科、各分野50点の合計100点を満点とするテストを行う。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	家庭分野のガイダンス	p 1 6～p 3 7
	5	B住生活	p p 2 3 2～p 2 5 5
	6	人間にとっての住まい、生活に必要な住空間、自然とともに	
	7	にある住生活、安全で健康な住生活	
2	8	B衣生活	p 1 8 2～p 2 3 1
	9	衣服のはたらきと手入れ、衣服の選択と着方、布を用いた	p 2 5 6～p 2 6 1
	10	作品で生活を演出	
	11	持続可能な住生活・衣生活	
	12		
3	1	B食生活	p 1 1 8～p 1 2 5
	2	日常食の調理	
	3		